

Akita Prefecture



(秋田ふきのとう県民運動シンボルマーク)

秋田県の自殺者の状況について

令和5年度

秋田県健康福祉部 保健・疾病対策課

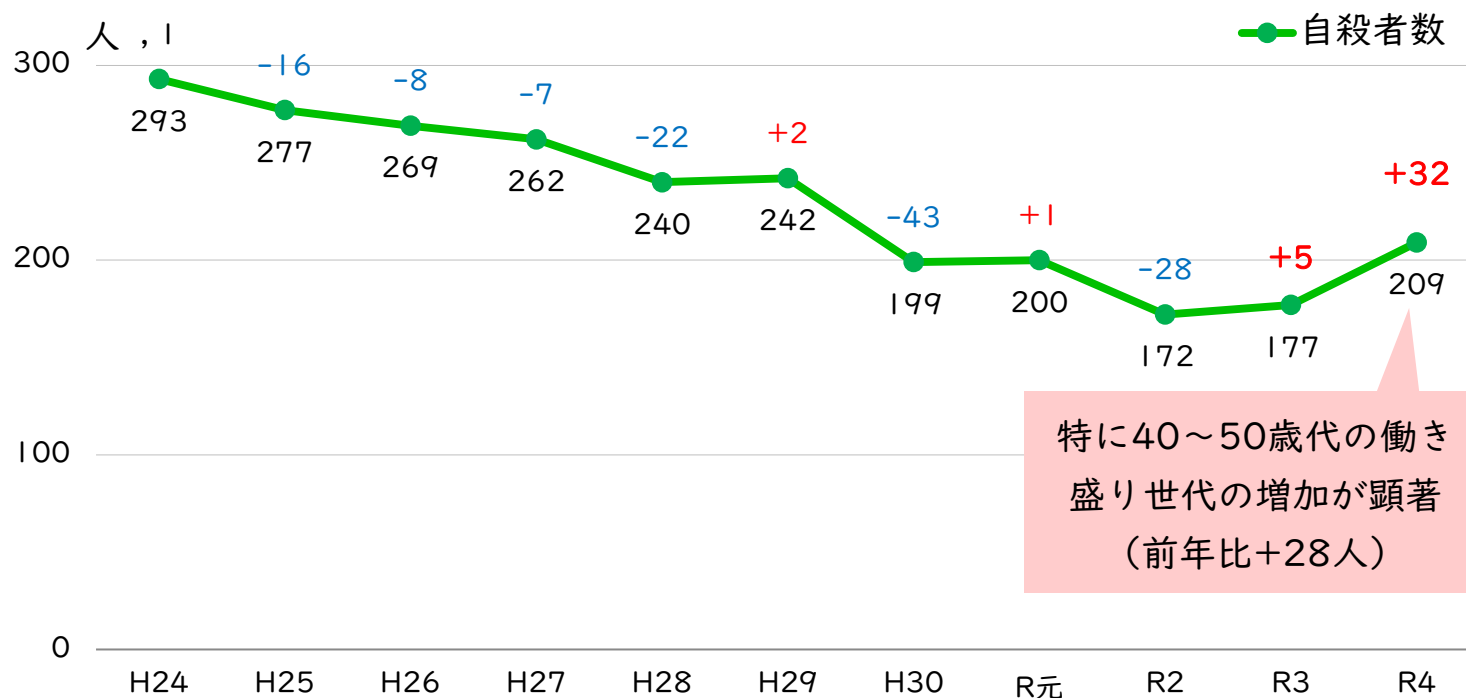
Akita pref.

人口動態統計による 令和4年（確定値）までの状況

- 秋田県の自殺者数の推移
- 自殺者数の実績と計画における目標値
- 性別・年代別自殺死亡率の比較（秋田県 vs 全国）

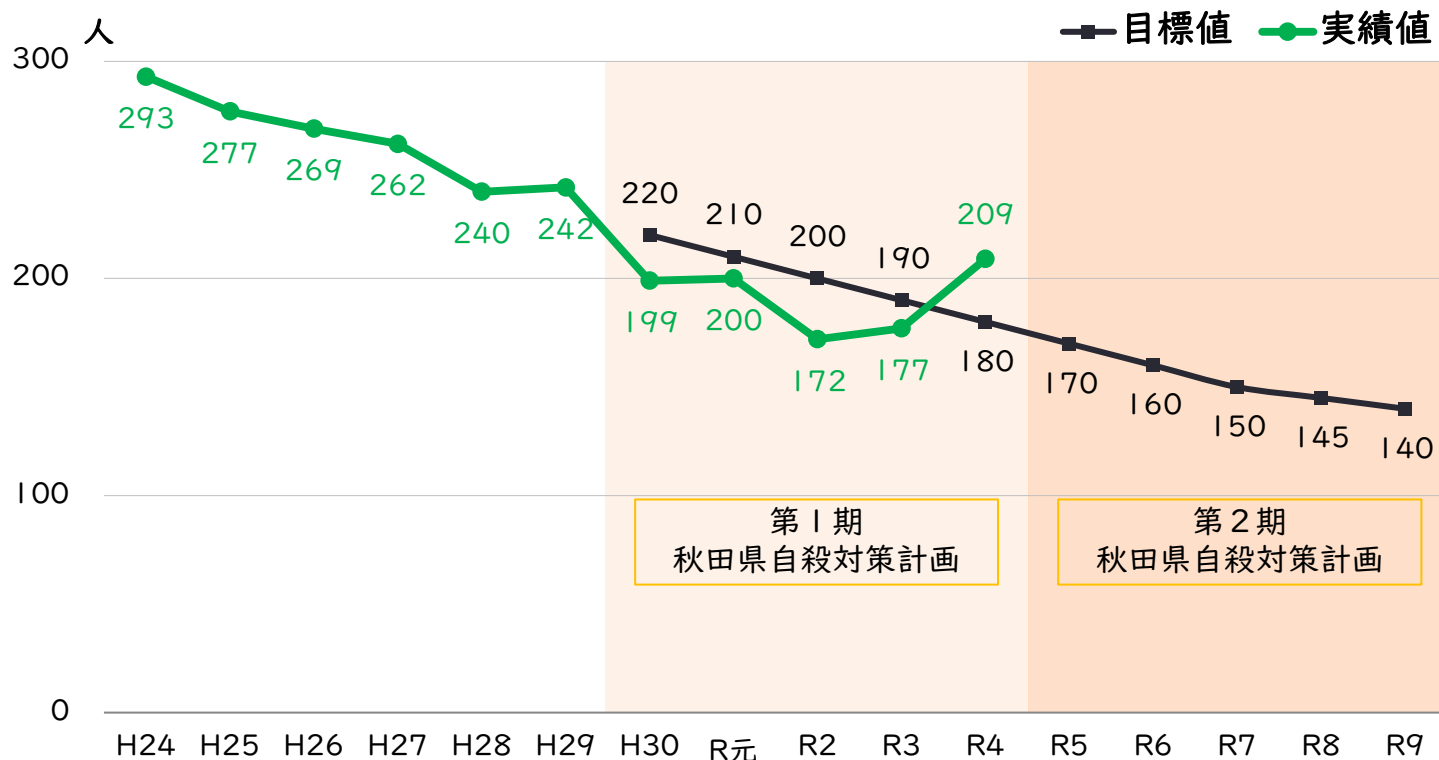
秋田県の自殺者数の推移

- 長期的には減少傾向にあるものの、令和3年から2年連続で増加している。
- 特に、令和4年は前年より32人の大幅増。



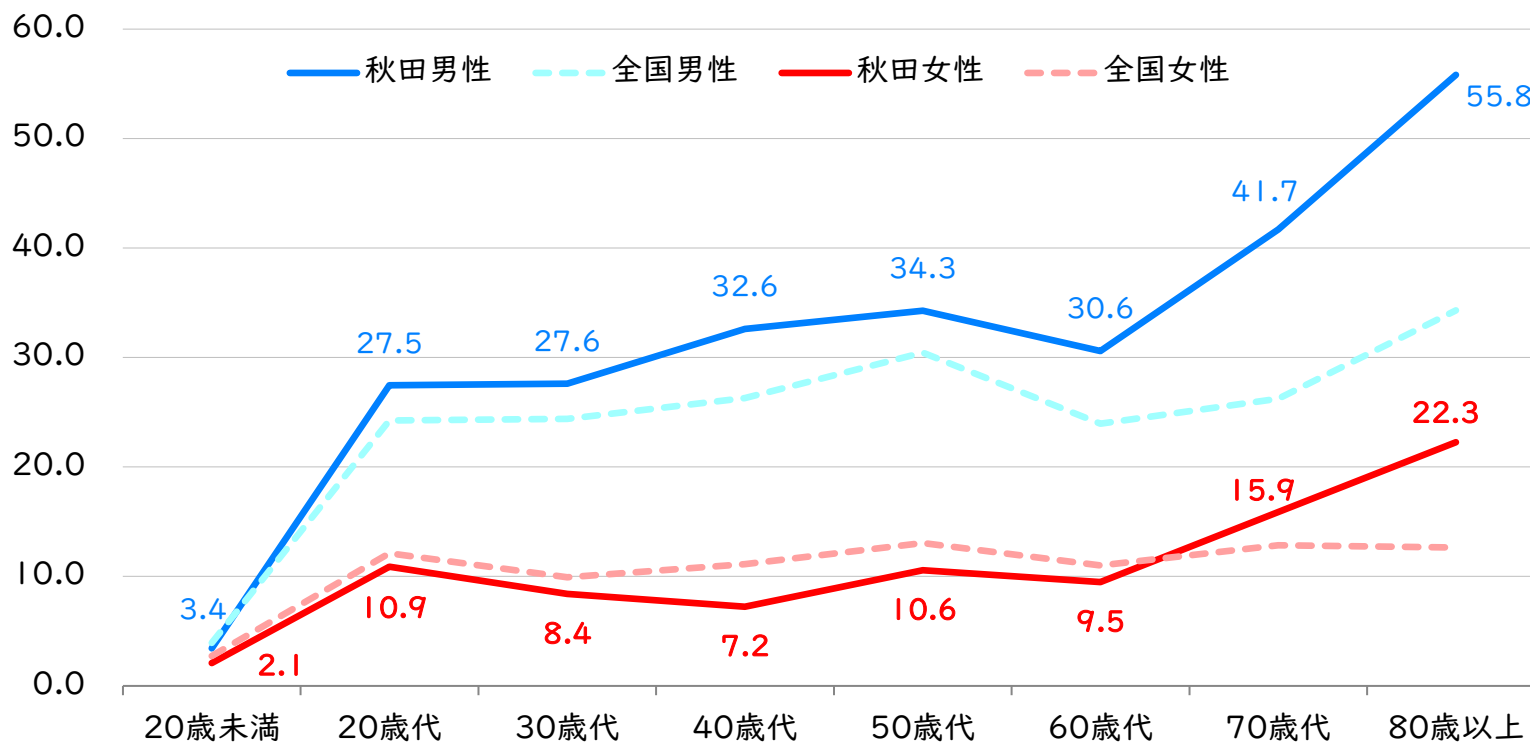
自殺者数の実績と計画における目標値

- 第1期秋田県自殺対策計画の策定以来、平成30年～令和3年までの4年間は目標を達成している。
- しかし、最終年の令和4年は初めて目標未達成となった。



性別・年代別自殺死亡率の比較（秋田県 vs 全国）

- 男性は、20歳代以上のすべての年代で秋田県の方が高い自殺死亡率であり、年齢が高くなる程その差は広がっている。
- 女性の場合、60歳代以下の世代では秋田県の方がやや自殺死亡率が低いが、70歳代以上では全国を上回っている。



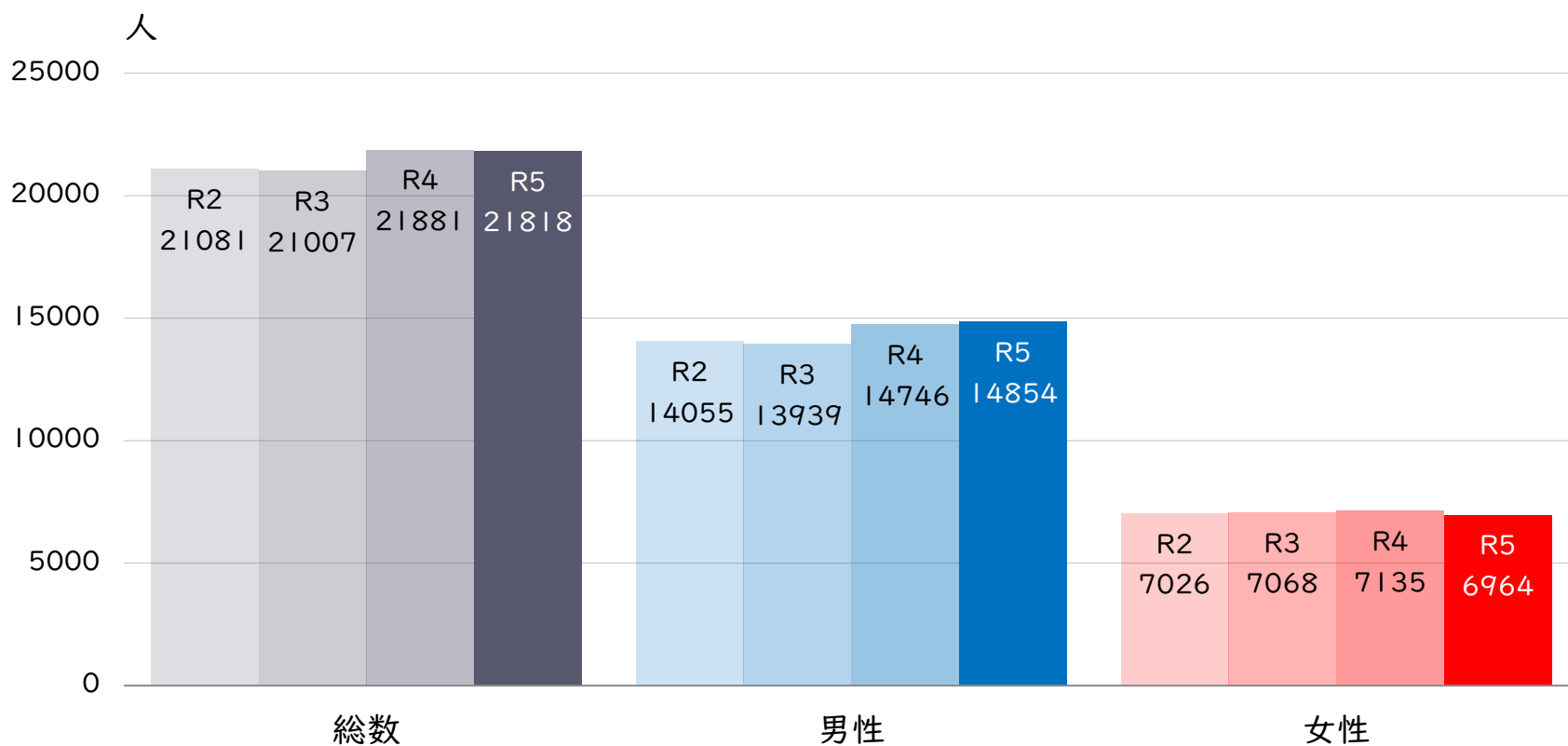
(出典) 厚生労働省「地域自殺実態プロファイル2023年更新版」(H28~R4平均)

警察庁の自殺統計による 令和5年（暫定値）の状況

- 自殺者数の推移（全国）
- 自殺者数の推移（秋田県）
- 年代別の自殺者数（秋田県・女性）
- 年代別の自殺者数（秋田県・男性）
- 年代別の自殺者数（秋田県・男女計）
- 原因別の自殺者数（秋田県・男女計）
- 警察署別の自殺者数（秋田県・男女計）

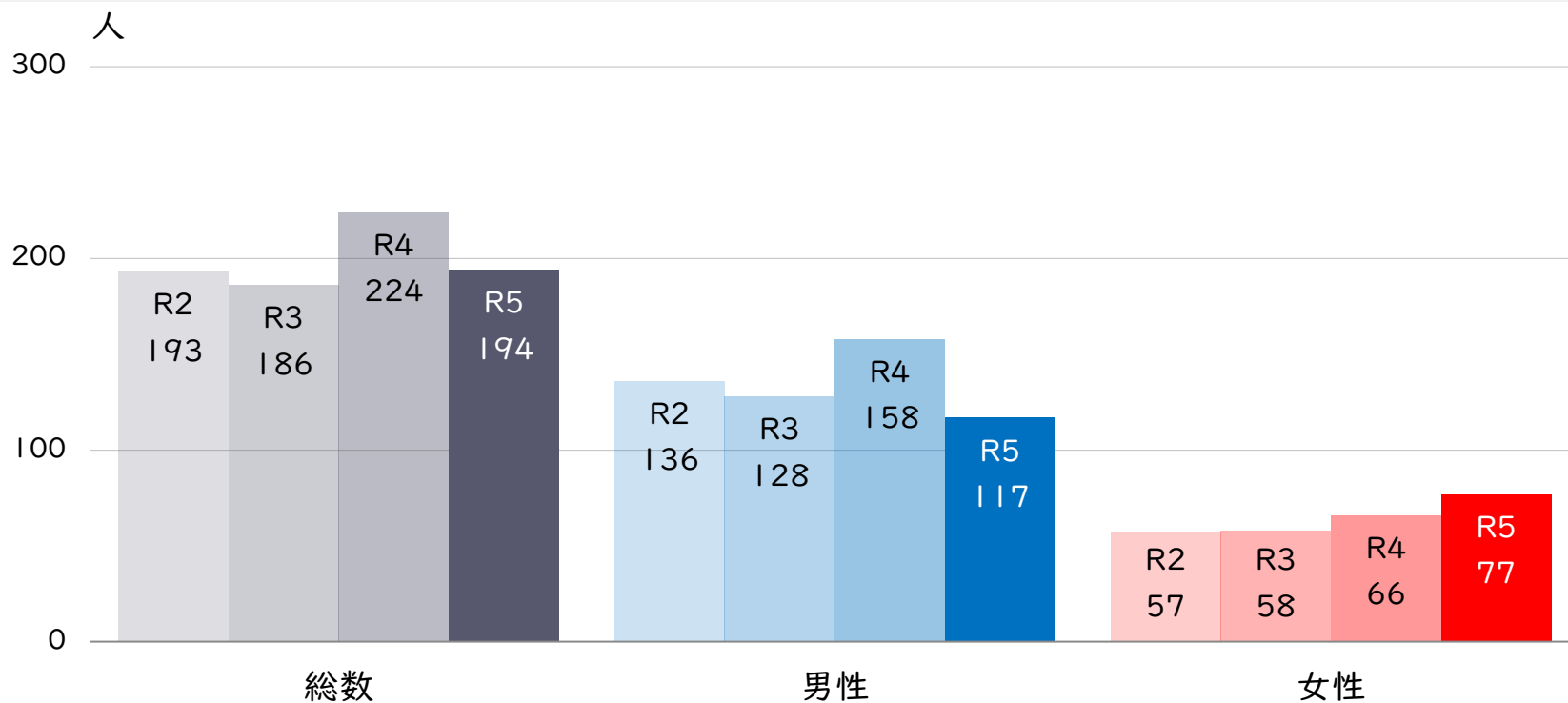
自殺者数の推移（全国）

○ 令和5年は、総数・男性・女性のいずれも前年と同水準ながら、男性は2年連続の増加となった。



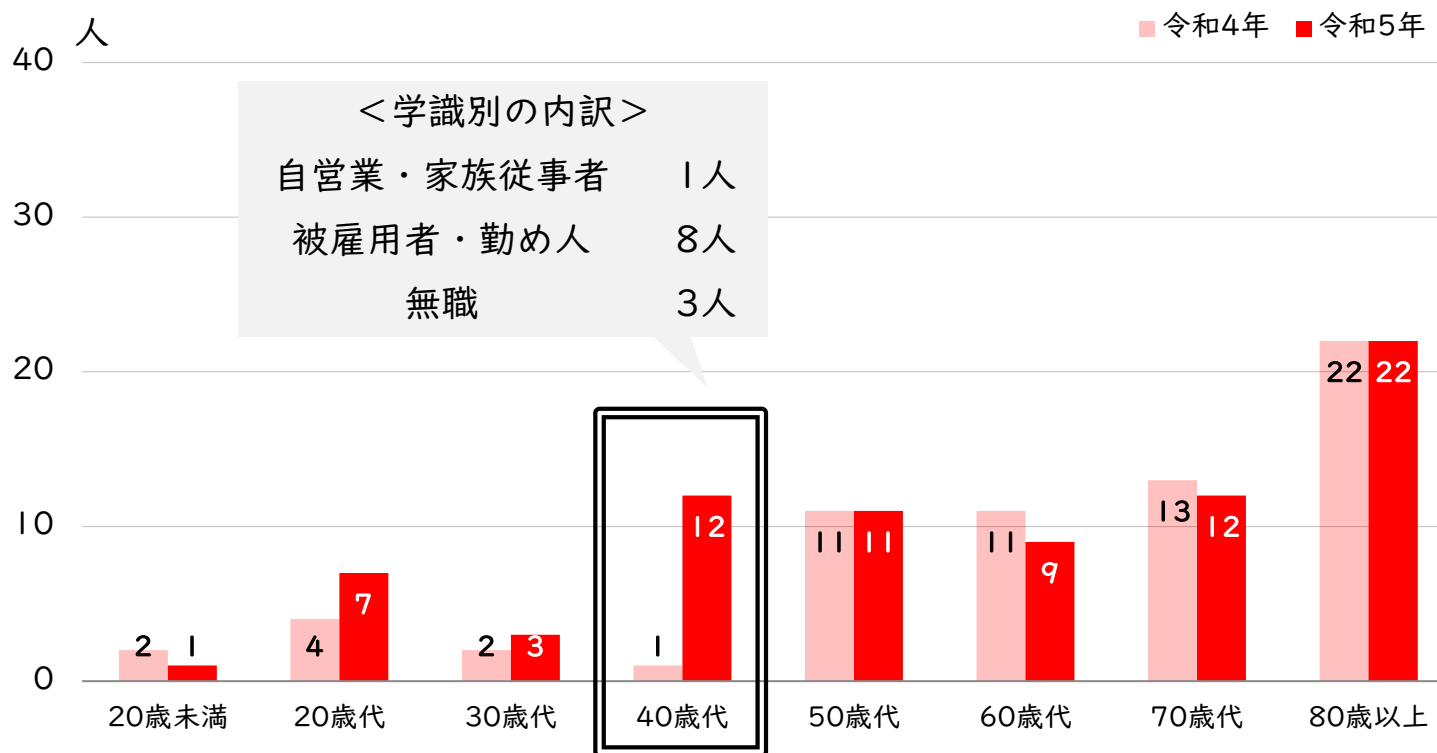
自殺者数の推移（秋田県）

- 令和5年は、男性が大きく減少（ $\Delta 41$ 人）したことにより、総数としては減少（ $\Delta 30$ 人）。
- 一方で、女性は増加（ $+11$ 人）となった。過去最少となった令和2年以降、3年連続での増加となった。



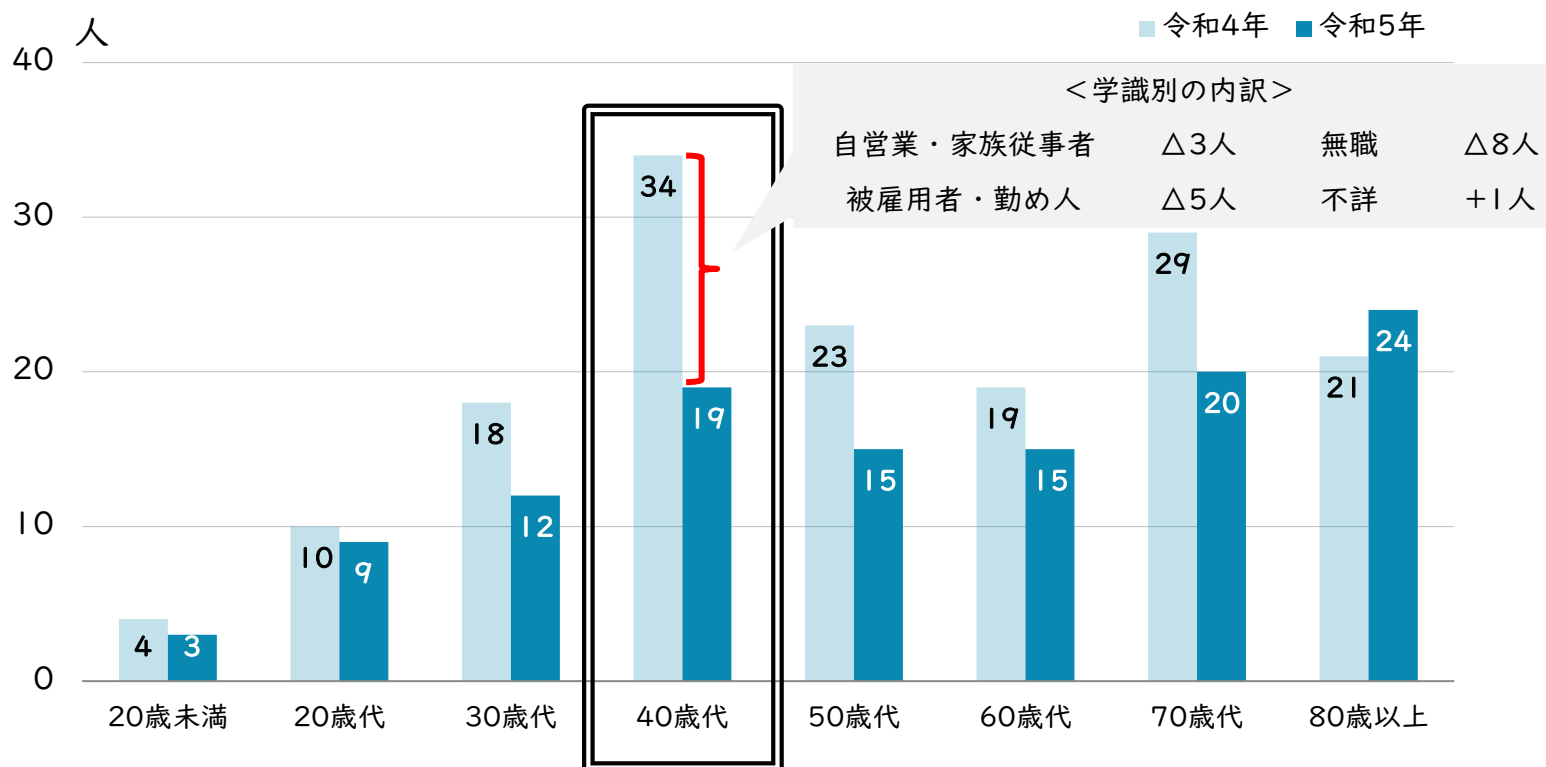
年代別の対前年自殺者数（秋田県・女性）

- 20歳代～40歳代にかけて増加しているが、中でも40歳代の増加が著しい（1人→12人）。
- 40歳代女性の学識別の内訳としては、「被雇用者・勤め人」が最も多くを占めている。



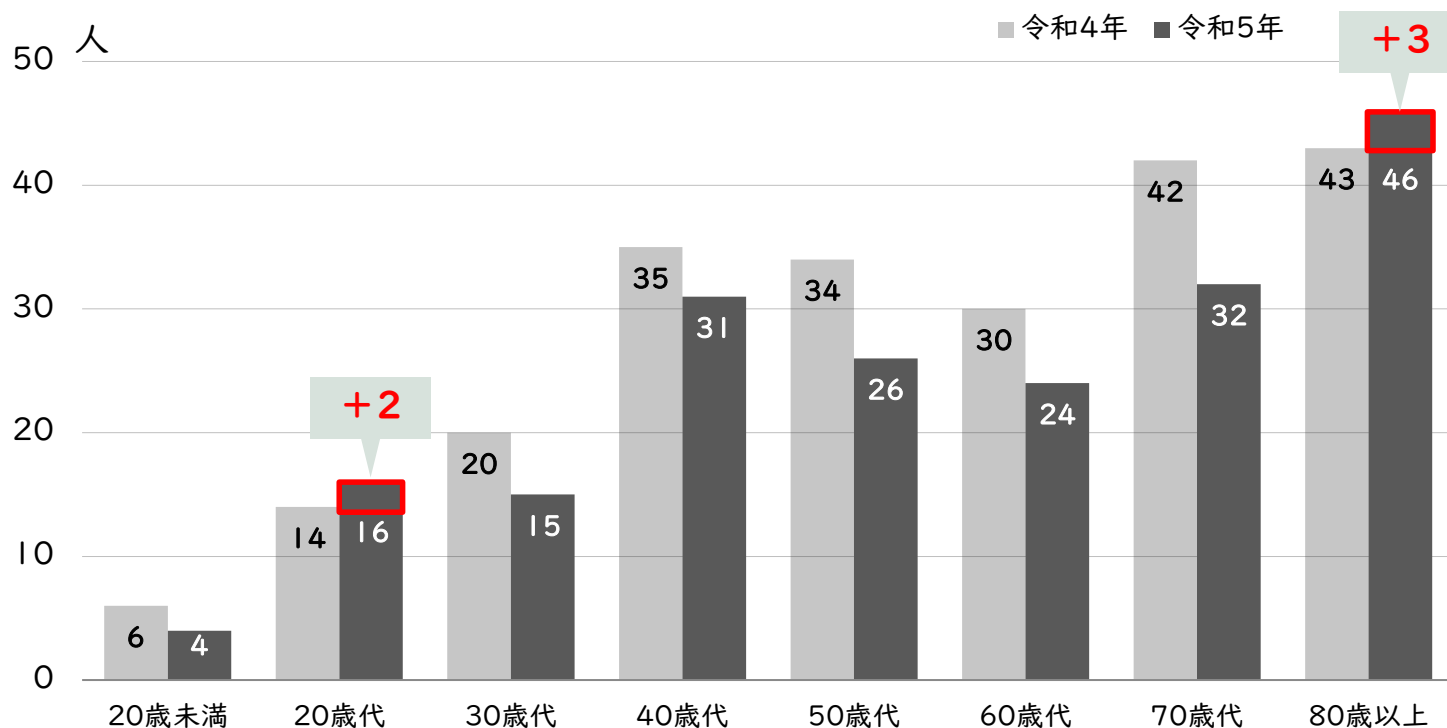
年代別の対前年自殺者数（秋田県・男性）

- 80歳以上を除く全ての世代で自殺者数が減少している。
- 最も減少幅が大きいのは40歳代。「無職」が最も大きく減少しており、次いで「被雇用者・勤め人」「自営業・家族従事者」の順となっている。



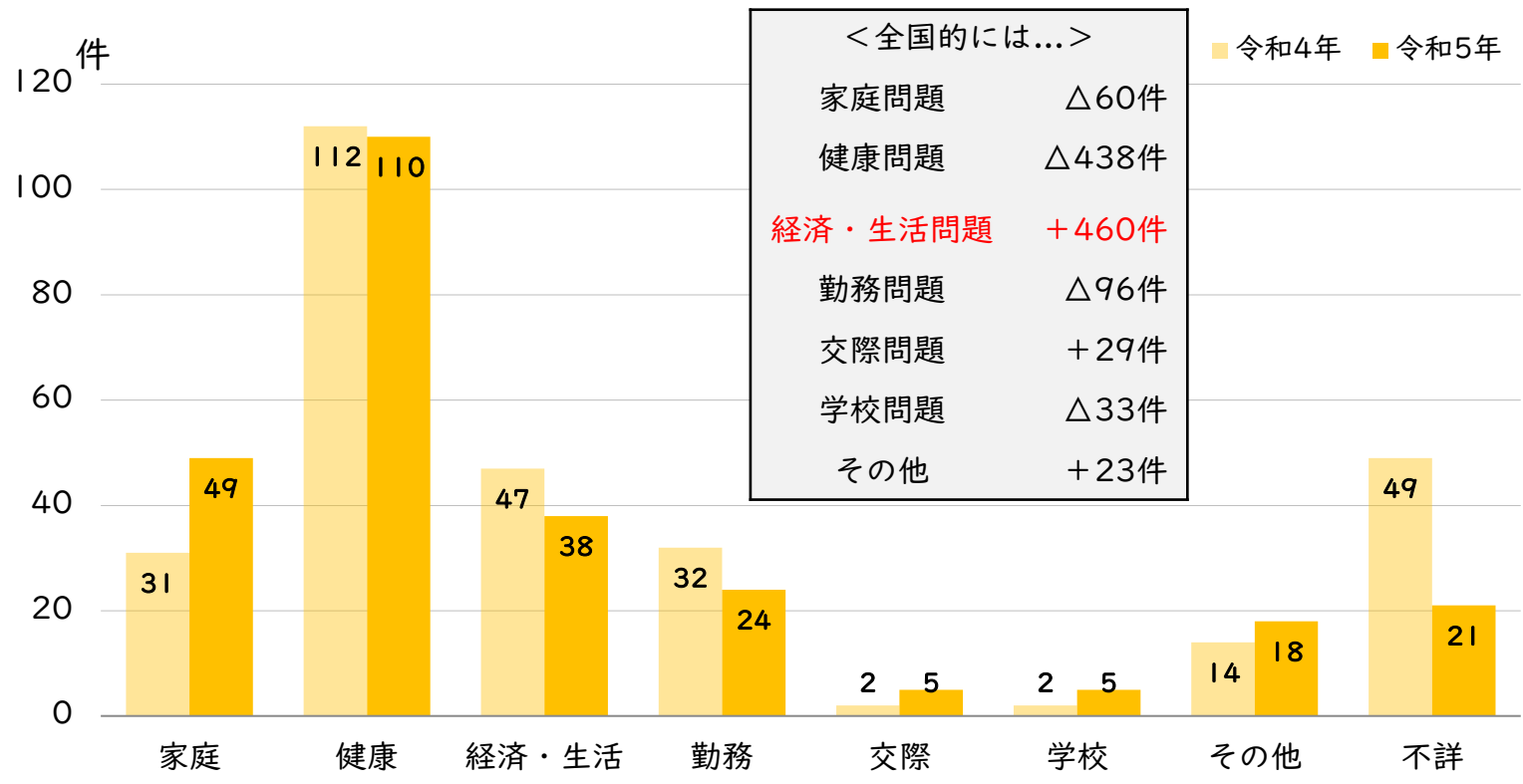
年代別の対前年自殺者数（秋田県・男女計）

○ 多くの世代で減少しているが、20歳代と80歳以上は増加している。



原因別の対前年自殺件数（秋田県・男女計）

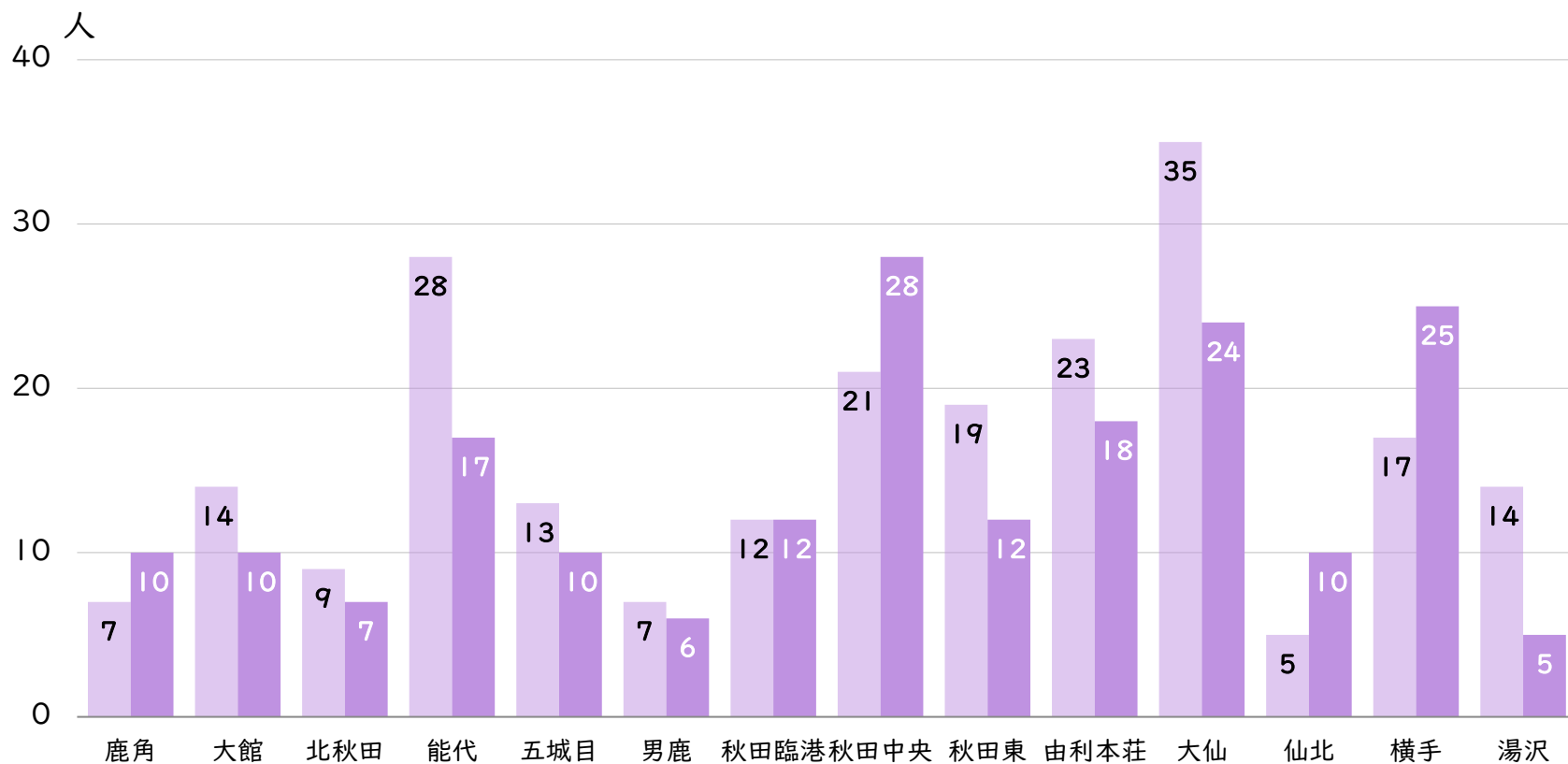
- 前年同様、健康問題が最も多い。
- 最も大きく増加しているのは家庭問題。特に、30～50歳代における増加が著しい（性別、職業等の内訳は不明）。



（出典）厚生労働省「警察庁の自殺統計に基づく自殺者数の推移等」、秋田県警察本部提供資料

警察署別の対前年自殺者数（秋田県・男女計）

○ 警察署別では秋田中央や横手等で増加、能代や大仙等で減少している。



まとめ

【人口動態統計による令和4年（確定値）までの状況】

- 秋田県の自殺者数は、長期的には減少傾向にあるが、令和3年以降は増加に転じている。
- 全国に比べ、高齢者の自殺死亡率が特に高い。

【警察庁の自殺統計による令和5年（暫定値）の状況】

- 令和5年は前年に比べると減少しているが、女性が増加しているほか、計画における目標は未達成となる可能性が高い。
- 女性の中でも、特に40歳代の被雇用者・勤め人の増加が著しい。
- 秋田県は家庭問題、全国では経済・生活問題を原因とする自殺の増加が目立っている。